

岐阜県外国人介護人材受入れ状況に関する実態調査結果（2023年度）

1. 調査目的

本調査は、介護人材確保における外国人介護人材に関して、「県内の介護事業所」及び「介護の現場で働く外国人」の実態を把握するとともに、課題や求める支援を明らかにし、今後の施策を検討するための基礎資料とすることを目的としています。

2. 調査概要

	①県内の介護事業所	②県内の介護事業所で働く外国人
回答結果	回答：364事業所（依頼：1,307事業所） 回答率：27.9% （＜参考＞ 昨年度実績 回答：327事業所 （依頼：1,474事業所） 回答率：22.2%）	回答：181名 （＜参考＞ 昨年度実績 回答：96名）
調査様式	紙媒体、データ（Excel）、WEBフォーム	紙媒体、データ（Excel）、WEBフォーム
提出方法	FAX、メール、WEBフォーム	FAX、メール、WEBフォーム
調査期間	2023年7月1日（土）～2023年7月21日（金） ※期限後に届いた調査票も集計に含む	

3. 結果概要

【①県内の介護事業所】

※最大3つまで回答

◎外国人介護人材の受入れに関する検討段階における課題では、「日本語のコミュニケーション能力に不安がある」が206件(24%)で最も多く、次いで「金銭面負担が大きい」が157件(18.3%)、「欲しい人材とマッチするか不安」が150件(17.4%)となっている。

→詳細はP.6へ

※最大3つまで回答

◎受入れ後の外国人介護人材への生活支援における課題では、「日本語指導者の確保が難しい」が241件(31.3%)で最も多く、次いで「生活指導者の確保が難しい」が215件(27.9%)、「住宅の確保が難しい」が144件(18.7%)となっている。2022年度と同じ結果であった。

→詳細はP.6へ

※最大3つまで回答

◎外国人介護人材の業務や雇用における課題では、「職務上の指導者確保が難しい」が172件(20.3%)で最も多く、次いで「日本語の活用能力が不足している」が166件(19.6%)、「職場規範の理解や順守が十分でない」が156件(18.4%)となっている。こちらも2022年度と同じ結果であった。

→詳細はP.6へ

【②介護事業所で働く外国人】

※最大3つまで回答

◎介護の仕事で困っていることでは、「専門用語が難しい」が87件(23.3%)と最も多く、次いで「利用者様の気持ちを理解するのが難しい」が56件(15%)、「言いたいことが表現できない」55件(14.7%)となっている。

→詳細はP.12へ

※最大3つまで回答

◎日常生活で困っていることは「生活費が高い」が64件（18.6%）と最も多く、次いで「困っていることはない」が43件（12.5%）、「法律や税金に関すること」「文化や習慣が違う」がそれぞれ34件（9.9%）となっている。

→詳細はP.12へ

※最大2つまで回答

◎受けたいと思う研修では、「介護の技術」が65件(21.8%)で最も多く、次いで「介護の専門用語」が56件(18.8%)、「コミュニケーションの方法」が55件(18.5%)で3位となっている。2022年度と同じ結果であった。

→詳細はP.13へ

4. 調査結果

【①県内の介護事業所】

①回答事業所の事業区分一覧

事業所区分	依頼件数	回答件数	回収率	回答全体に占める割合
通所介護事業	412	98	24%	26.9%
認知症対応型共同生活介護事業	251	67	27%	18.4%
地域密着型通所介護事業	262	50	19%	13.7%
介護老人福祉施設	130	44	34%	12.1%
介護老人保健施設	72	22	31%	6.0%
小規模多機能型居宅介護事業	49	15	31%	4.1%
短期入所生活介護事業	27	14	52%	3.8%
特定施設入居者生活介護事業	28	14	50%	3.8%
地域密着型老人福祉施設	36	14	39%	3.8%
認知症対応型通所介護事業	26	5	19%	1.4%
地域密着型特定施設入居者生活介護	4	2	50%	0.5%
介護医療院	9	2	22%	0.5%
短期入所療養介護事業	1	1	100%	0.3%
その他		16		4.4%
合計	1307	364		100.0%

<その他の事業所区分（記述）>
法人内に複数の事業所があり回答

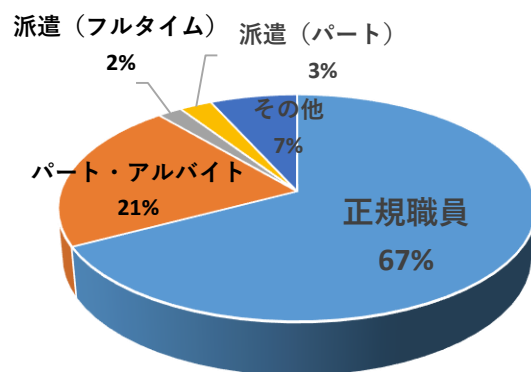
複合施設 2
住宅型有料老人ホーム 2
有料老人ホーム
通所リハビリテーション
養護老人ホーム
サービス付き高齢者向け住宅
訪問介護
居宅介護支援
軽費老人ホーム
看護小規模多機能型居宅介護施設
生活介護・共生型介護
介護療養型医療施設
行政

②雇用形態ごとの職員数

単位：人

「外国人介護職員の雇用形態」

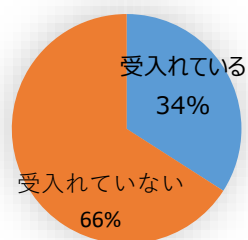
	介護職		その他		合計
	日本人	外国人	日本人	外国人	
正規職員	3,517	317	1,443	3	5,280
パート・アルバイト	2,971	101	1,319	1	4,392
派遣（フルタイム）	53	9	3	0	65
派遣（パート）	28	12	8	0	48
その他	125	32	52	0	209
合計	6,694	471	2,825	4	9,994



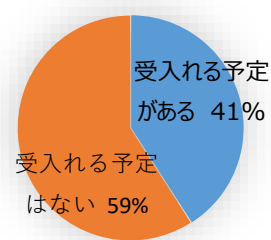
③外国人介護人材の受入れ状況と今後の受入れ予定（全体） 2023年7月1日時点

現在の受入れ状況	件数	今後の受入れ予定		割合
		件数	割合	
受入れている	124	受入れる予定がある	101	28%
		受入れる予定がない	23	6%
受入れていない	240	受入れる予定がある	48	13%
		受入れる予定がない	113	31%
		受入れを検討したことがない	79	22%
合計		364	100%	

現在の受入れ状況



今後の受入れ予定



外国人介護人材の受入れ状況と今後の受入れ予定（事業所別）

	現在も受入れ ているが 今後も受入れ る予定がある	現在は受入れ ているが 今後は受入れ る予定がない	現在は受入れ ていないが 今後は受入れ る予定がある	現在も受入れ ていないし 今後も受入れ る予定がない	受入れを 検討したこと がない	合計
通所介護事業	15	7	14	39	23	98
認知症対応型共同生活介護事業	22	2	7	22	14	67
地域密着型通所介護事業	7	1	3	19	20	50
介護老人福祉施設	21	5	7	7	4	44
介護老人保健施設	10	2	1	5	4	22
小規模多機能型居宅介護事業	4	1	3	3	4	15
短期入所生活介護事業	4	3	2	4	1	14
特定施設入居者生活介護事業	6	2	3	3	0	14
地域密着型老人福祉施設	6	0	2	6	0	14
認知症対応型通所介護事業	0	0	2	0	3	5
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	0	0	0	0	2
介護医療院	2	0	0	0	0	2
短期入所療養介護事業	0	0	0	0	1	1
その他	2	0	4	5	5	16
合計	101	23	48	113	79	364

雇用してよかったこと・改善につながったこと

<ul style="list-style-type: none"> ➢ 人材確保ができた (職員の負担軽減・サービス向上) (60) ➢ 勤務態度が真面目で勤勉 (15) ➢ 日本人職員の刺激になっている (仕事に対する意識・接遇) (10) ➢ グローバル化になった (7) ➢ 業務の見直しになった (4) ➢ 笑顔が多く明るい (4) ➢ 職員の平均年齢が下がった (若い人材確保により バランスの良い職員体制ができた) (3) ➢ 外国人用だけではなく日本人新人職員にも共通する 指導方法を見直すことができた (2) ➢ 言語だけに頼らない非言語コミュニケーションの図り方を 学べている (1) ➢ 接遇面の向上 (1) ➢ 今後の外国人雇用について前例ができた (1) ➢ 急な人員不足や、夜勤休日出勤を積極的に行って いただけ助かる (1) ➢ 基本的に忠実である (1) 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 指導する日本人職員の学びの機会になりスキルアップ につながった (15) ➢ 真面目で明るく前向きな姿勢でご利用者様にも好 印象 (10) ➢ 現場の活気がでた (8) ➢ 職員間の連携がより意識的に行われるようになった (4) ➢ 常にご利用者様目線である (3) ➢ 日本人とはまた違う感性でご利用者様に適切なケア が行えている (2) ➢ 休み希望が少ない、勤務の融通が付きやすい (2) ➢ 外国人であっても十分に介護の仕事を任せられること が分かったこと (1) ➢ 外国人が日本の言語や文化の習得が大変であること が、関わるなかで日本人職員が理解を深められた こと (1) ➢ ご利用者様が異国の話を楽しみにしている (1)
--	---

④外国人介護人材の受入れを予定しない理由（記述） 回答内容の分類

◆「現在受入れているが、今後の受入れ予定が無い」事業所の理由

(10件) 人材面に関する理由		
➢ 人員確保が不要の為 (9)	➢ 現在は日本人の採用を優先している	
(7件) 受入れに対する課題に関する理由		
➢ 今後、言葉とコミュニケーションの問題が解決されれば受入れ可	➢ 現在雇用している人材の育成を熟考しながら進めている。将来的には外国人材の採用を考えているが、この1～2年は状況的に難しい	➢ 現状を維持しながらこれ以上の受入れは難しいと判断
➢ 読み書きができないことで他職員に負担がかかっている	➢ 言葉の壁がなかなか埋められない	➢ 国柄か仕事に対する受け止め方が理解されない
➢ 費用面・育成面の課題がある		
(3件) その他		
➢ 現在雇用している人材にまだ就業期間があるため具体的には考えていないが、就業期間が終わった後には受入れ可	➢ 現在雇用している人材の就業予定期間がまだあるため、具体的には予定していない	➢ 現在雇用している人材の様子をみて決めたい

◆「現在受入れをしておらず、今後の受入れ予定も無い」事業所の理由

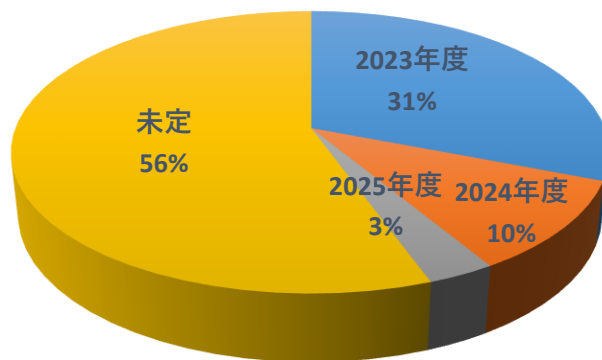
(62件) 受入れに対する課題や不安に関する理由		
➢ 支援体制・環境の確保が困難 (62)	➢ 費用負担が大きい (15)	➢ 小規模で余裕がない (6)
➢ 制度の知識不足 (5)	➢ 現状人員不足の為教育できるだけの余裕がない (4)	➢ 通勤が困難 (車が必要) (2)
➢ 地域柄生活環境が整っていない (車が必要)		
(42件) 人材面に関する理由		
➢ 人員が充足している (26)	➢ 読み・書き・コミュニケーション能力に不安がある (11)	➢ 文化の違いがある (2)
➢ 利用者の気持ちを考えてできれば日本人がいい (2)		
(7件) 業務に関する理由		
➢ 業務内容的に難しい (車の運転が必要) (2)	➢ 質の向上が難しいため	➢ 短時間で働いている方がほとんどであるため不向き
➢ 日本人のみで頑張りたい	➢ 新規事業所のため受け入れ対象にならなかった。今後は機会があれば受け入れをしていきたい。	
➢ 現状マッチングしていないため		
(27件) その他の理由		
➢ 法人内の他事業所で受け入れをしている (特養・老健) (10)	➢ 以前受け入れたことがあるが難しいと判断した (6)	➢ 介護ロボットやアクティブシニアを活用している (3)
➢ 検討したが具体的な計画に至らなかった (3)	➢ 応募がない (3)	➢ 地域の雇用を優先 (2)

◆「検討をしたこともない」事業所の理由

(39件) 人材面に関する理由		
➢ 人員が充足している (22)	➢ 応募がない (9)	➢ 文化の違いに心配がある (3)
➢ コミュニケーション力に不安がある (3)	➢ 日本人の採用を優先 (2)	
(25件) 受入れに対する課題や不安に関する理由		
➢ 支援体制が整っていない (8)	➢ 制度の知識不足 (7)	➢ 受入れ支援の時間がない (指導の人員不足) (5)
➢ 費用負担が大きい (5)		
(24件) その他の理由		
➢ 法人本部での判断 (7)	➢ 必要性を感じない (4)	➢ 現状受入れ不可能 (3)
➢ 小規模事業所のため (3)	➢ 車の運転が必要なため (2)	➢ 検討したが現実的でないと判断した
➢ 検討する時間がない	➢ 介護より医療の業務が多い	➢ 選択肢にない
➢ 行政機関のため		

⑤今後の受入れ予定がある事業所の直近の受入れ予定

	件数	割合
2023年度	59	31%
2024年度	20	10%
2025年度	6	3%
未定	106	55%



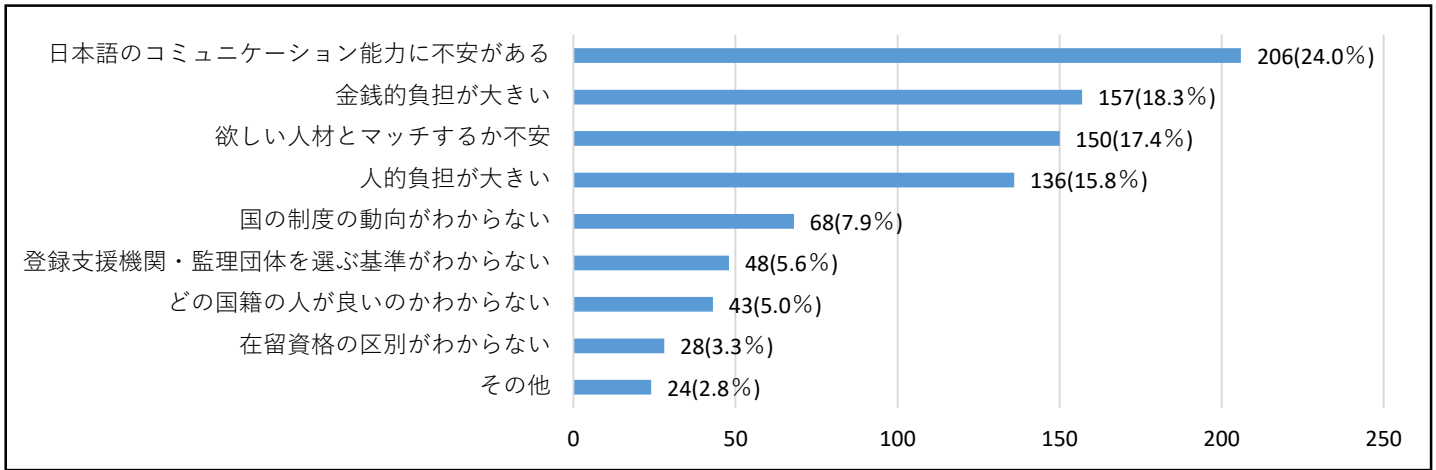
⑥外国人介護人材の受入れ状況（2023年7月1日時点）

	特定活動 (EPA介護福祉士 及び候補生)	技能実習	特定技能	介護	留学	永住/ 定住	家族滞在	合計
ベトナム	7	48	52	14	4	1	1	127
インドネシア	12	15	60	16	13	2		118
フィリピン	9	1	21	17	5	32		85
ミャンマー		30	15	7	34	1		87
ネパール		6	15	3	5	1		30
中国		2	1	1	1	6		11
スリランカ			7		4			11
ブラジル				1	1	5		7
インド		5						5
モンゴル			1	1	1	1		4
タイ				1	1	1		3
スウェーデン						1		1
バングラデシュ				1				1
韓国						1		1
合計	28	107	172	62	69	52	1	491

⑦2023年度内の新たな外国人介護人材の受入れ予定

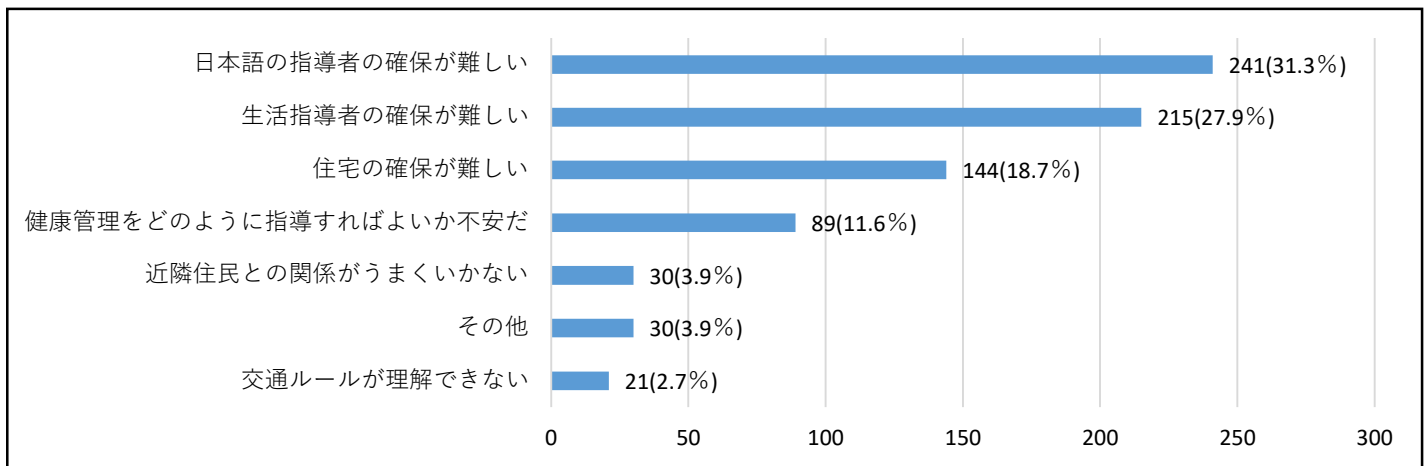
	特定活動 (EPA介護福祉士候補生)	技能実習	特定技能	介護	留学	合計
インドネシア	3	8	10		7	28
ベトナム		10	10	1		21
フィリピン	2		7	1		10
ミャンマー		3	12		15	30
ネパール		4	6			10
インド		3				3
中国		2				2
モンゴル			1			1
合計	5	30	46	2	22	105

⑧外国人介護人材の受入れを検討する段階における課題（3つまで選択）



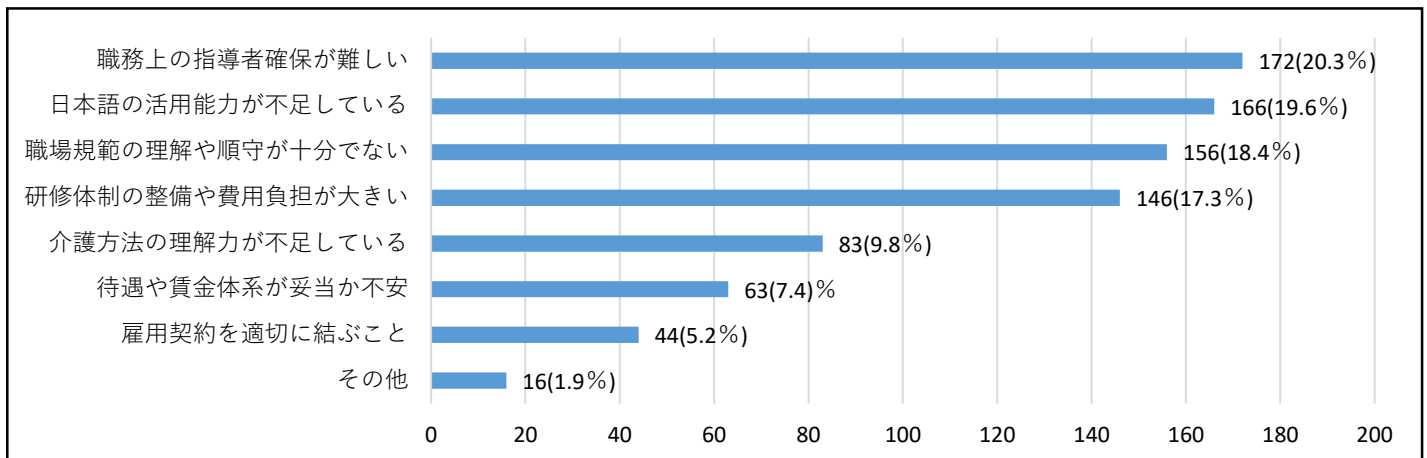
その他では「住居の問題」「法人の方針」「採用条件の問題」「職場規範の理解や遵守の問題」「受入れまでの手間や手続きに時間を要しそう」「現在受け入れている国籍と別の国籍を受け入れた場合の相性の良し悪しなどの不安」「費用をかけて育てた後の転職の不安」「利用者様とのコミュニケーションや介護レベルがわからず不安」「長期的に就労可能か不明」「地域柄日常生活支援をどうしていくか」「教育方法がわからない」「帰国後の他職員の方策に不安」

⑨外国人介護人材の受入れ後の生活支援における課題（3つまで選択）



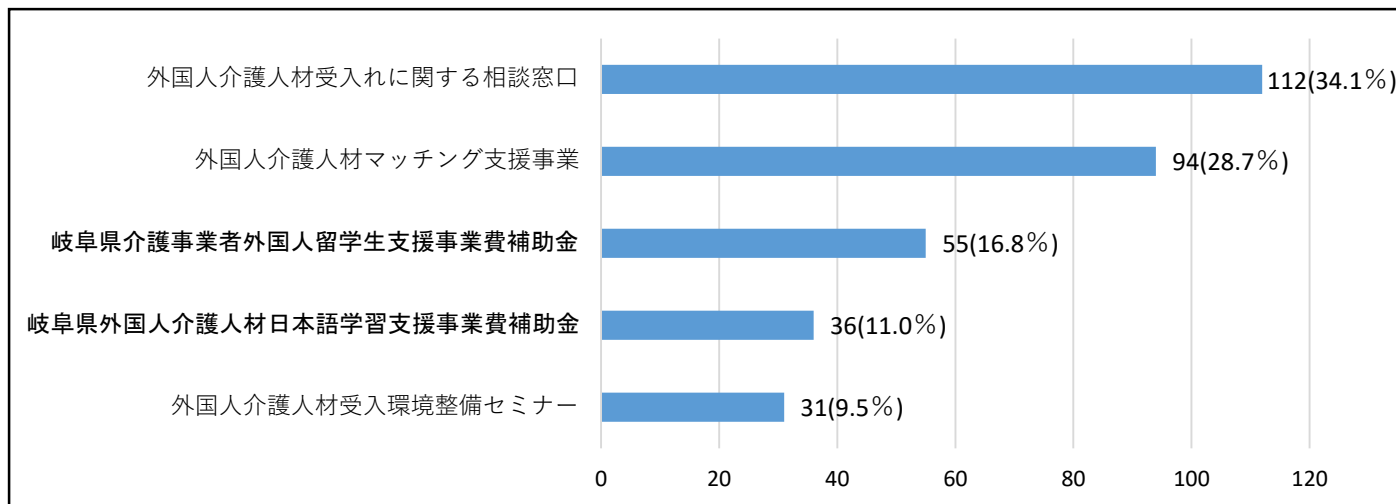
その他では、「運転免許取得に関して」「急に長期休暇をとりたがること」「交通手段の確保が困難」「日本語や生活指導に費やす時間の確保が困難」「ゴミ出しのルール」「同室者の人間関係支援」「体調不良時の病院付き添い」「金銭管理」「僻地のため生活様式に慣れるか不安」「家電等の準備費用」「メンタル面の支援方法」「食生活に関する支援」「ルール・文化の相互理解が困難」「時間が取れず実際にどのような生活をしているのか把握できない」

⑩外国人介護人材の業務や雇用における課題（3つまで選択）

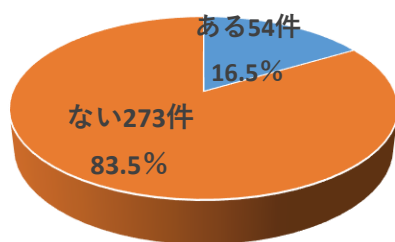


その他では、「意思疎通ができるか」「日本人職員の年代や文化の違いの穴を埋める事」「居住環境の整備」「通所の為運転免許がなかったり、持っていたとしても送迎業務を任せるとはできず、その分他の職員に負担がある」「読み書き能力の不安」「賃金の面で都会や他職種に変わることが多く、特定技能の定着率が悪い」「一時帰国等で長期休暇希望があるが、再入国に対する不安」「委員会、ミーティングに出席できるレベルの日本語習得に至らない」

⑪岐阜県が実施する事業の認知状況



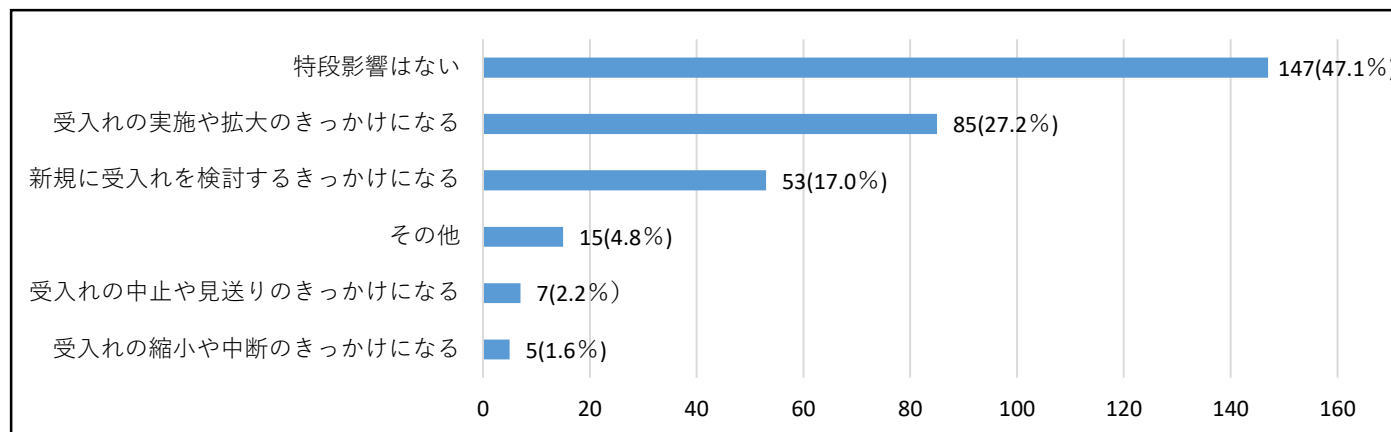
⑫外国人介護人材の雇用における新型コロナウイルス感染症の影響



外国人の雇用における新型コロナウイルス感染症の影響に関する記述内容の分類

受入れ時期が遅れた（現在は解消された）	25	ワクチンの接種に関すること	5
感染対策の指導が難しい	4	共同生活者の感染や疑い時、同居人も体調観察等で勤務することができない。集団感染しやすい	4
危機感が薄い	4	帰国時（後）の問題	3
コミュニティー間の集まりのリスク	2	ビザの発行が遅れている	1
対面による面接ができなかった	1	採用予定だったが新型コロナで入国ができず、その後入職を断念した	1

⑬外国人介護人材に関する制度（技能実習・特定技能）の見直しや検討は事業所の受入れにどのような影響を与えるか



その他（未記入あり）

わからない	10	新規受入れの検討にもなるが、縮小や中断にもなりうる	1
-------	----	---------------------------	---

調査結果の分析から見たポイント

【①県内の介護事業所】

I 外国人介護人材の受入れ実績の有無と受入れを検討する段階における課題

(クロス集計：③外国人介護人材の受入れ状況と今後の受入れ予定×⑧外国人介護人材の受入れの検討段階における課題)

※受入れ実績の有無それぞれにおける回答数を割合で記載している

課題	受入れ実績がある事業所	受入れ実績がない事業所
国の制度の動向がわからない	5.2%	9.1%
どの国籍の人が良いのかわからない	5.5%	4.7%
在留資格の区別がわからない	2.4%	3.7%
欲しい人材とマッチするか不安	20.3%	16.0%
人的負担が大きい	11.7%	17.9%
金銭的負担が大きい	23.8%	15.5%
登録支援機関・監理団体を選ぶ基準がわからない	4.5%	6.2%
日本語のコミュニケーション能力に不安がある	24.5%	23.7%
その他	2.1%	3.2%

・受入れ実績に関わらず「日本語のコミュニケーション能力に不安がある」が一番高い割合になっており、日本語支援が必要と考えられる。受入れ実績のある事業所では「金銭的負担が大きい」、実績のない事業所では「人的負担が大きい」が2番目に多い割合になっている。

II 外国人介護人材の受入れ実績の有無と受入れ後の生活支援における課題

(クロス集計：③外国人介護人材の受入れ状況と今後の受入れ予定×⑨外国人介護人材の受入れ後の生活支援における課題)

※受入れ実績の有無それぞれにおける回答数を割合で記載している

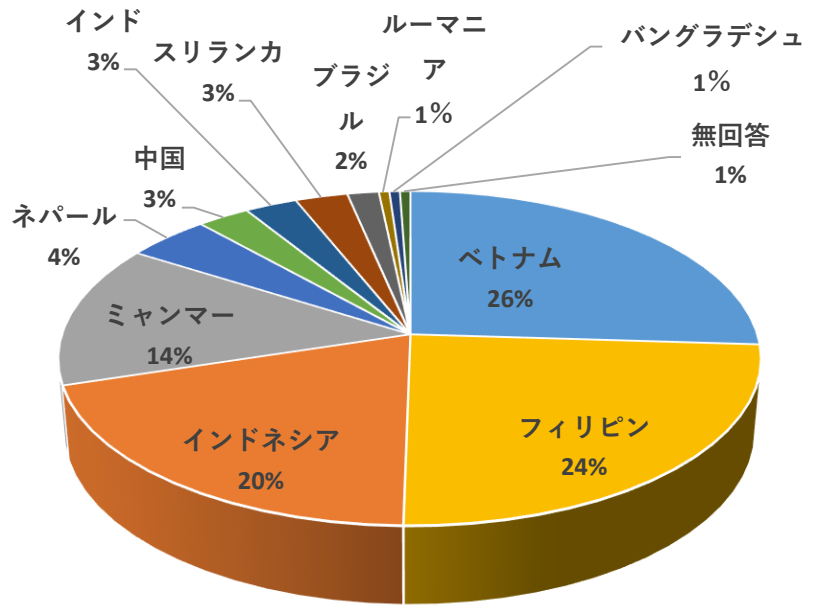
課題	受入れ実績がある事業所	受入れ実績がない事業所
日本語指導者の確保が難しい	31.4%	31.3%
生活指導者の確保が難しい	21.8%	30.7%
住宅の確保が難しい	13.8%	20.9%
近隣住民との関係がうまくいかない	2.9%	4.3%
健康管理をどのように指導すればよいか不安だ	20.5%	7.5%
交通ルールが理解できない	1.7%	3.2%
その他	7.9%	2.1%

・受入れ実績の有無に関わらず「日本語の指導者の確保が難しい」「生活指導者の確保が難しい」が上位になっており、指導者に関する支援が必要だと考えられる。

【②県内の介護事業所で働く外国人】

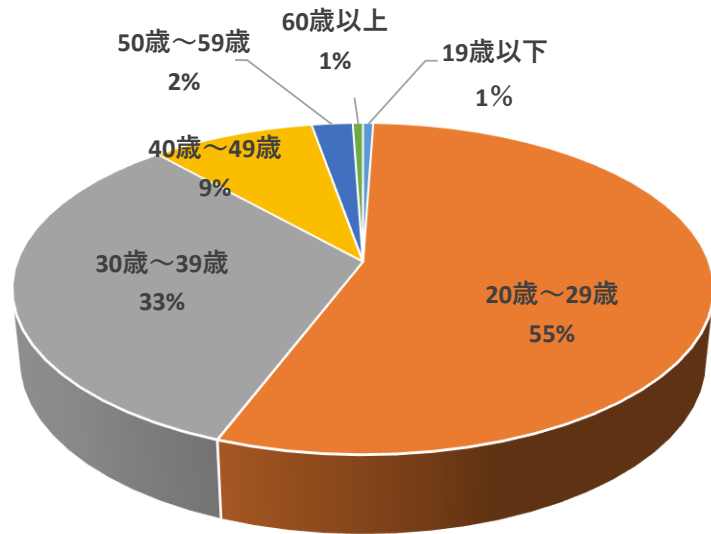
①国籍

	人数	割合
ベトナム	47	26%
フィリピン	44	24%
インドネシア	36	20%
ミャンマー	25	14%
ネパール	8	4%
中国	5	3%
インド	5	3%
スリランカ	5	3%
ブラジル	3	2%
ルーマニア	1	1%
バングラデシュ	1	1%
無回答	1	1%
合計	181	100%



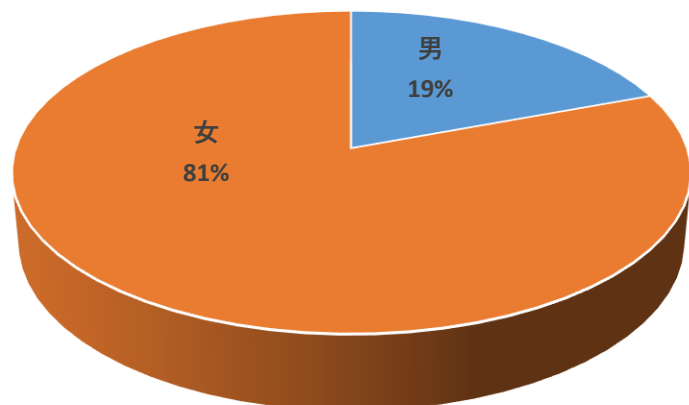
②年代

	人数	割合
19歳以下	1	1%
20歳～29歳	100	55%
30歳～39歳	59	33%
40歳～49歳	16	9%
50歳～59歳	4	2%
60歳以上	1	1%
合計	181	100%



③性別

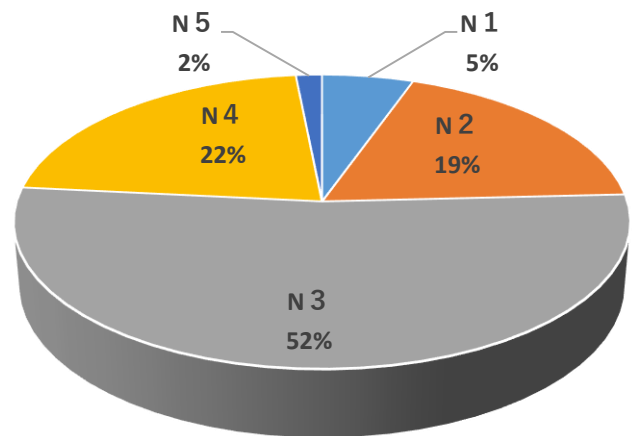
	人数	割合
男	35	19%
女	146	81%
合計	181	100%



④日本語能力（検定取得状況）

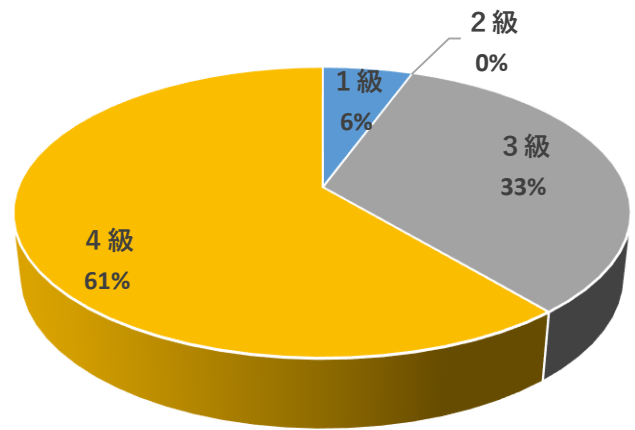
日本語能力試験JLPTの取得級

	人数	割合
N 1	7	5%
N 2	24	19%
N 3	67	52%
N 4	28	22%
N 5	2	2%
合計	128	100%



日本語NAT-TESTの取得級

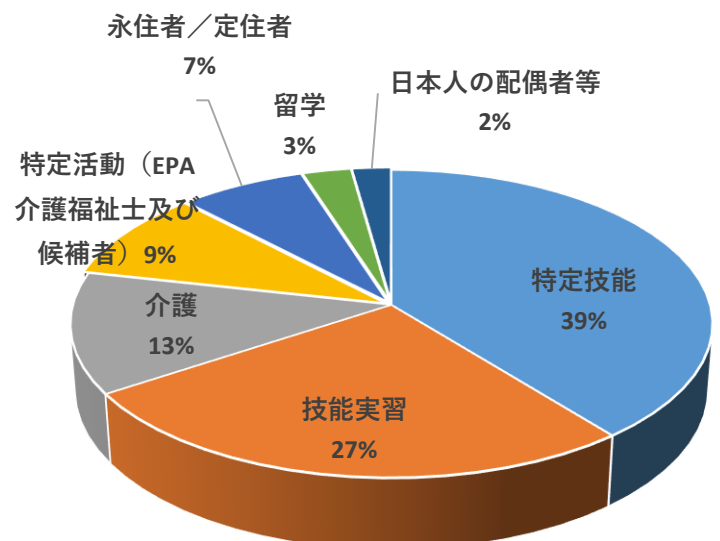
	人数	割合
1 級	1	6%
2 級	0	0%
3 級	6	33%
4 級	11	61%
合計	18	100%



- いずれも持っていない 38名
- その他
- JFT Basic A2 10名
- JFT Basic 7名

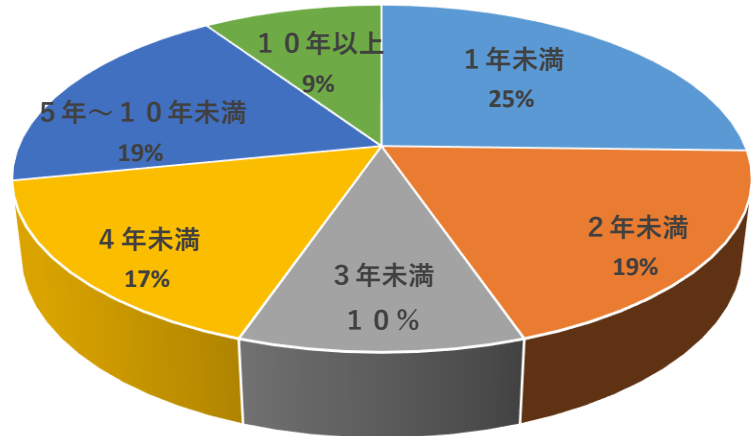
⑤在留資格

	人数	合計
特定技能	71	39%
技能実習	48	27%
介護	23	13%
特定活動 (EPA介護福祉士及び候補者)	17	9%
永住者／定住者	13	7%
留学	5	3%
日本人の配偶者等	4	2%
合計	181	100%



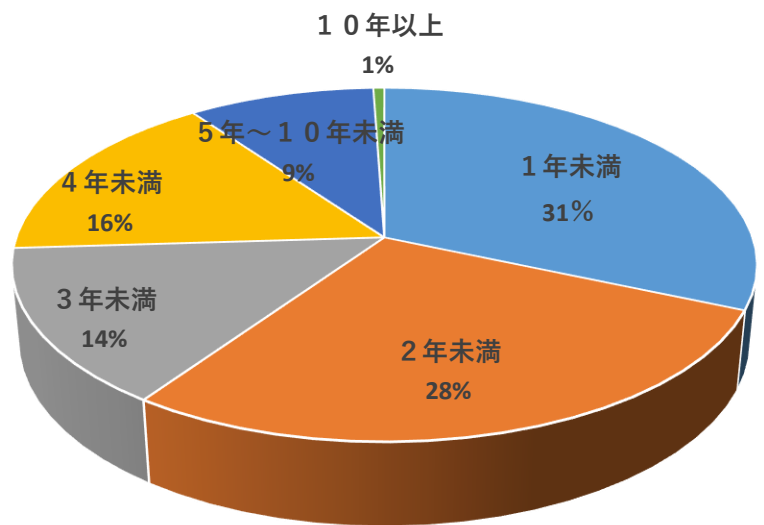
⑥在日年数（2023年7月1日時点）

	件数	割合
1年未満	46	25%
2年未満	35	19%
3年未満	19	10%
4年未満	30	17%
5年～10年未満	34	19%
10年以上	17	9%
合計	181	100%



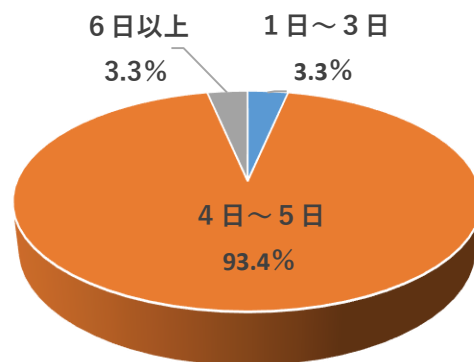
⑦介護業務従事年数（2023年7月1日時点）

	件数	割合
1年未満	57	31%
2年未満	51	28%
3年未満	26	14%
4年未満	29	16%
5年～10年未満	17	9%
10年以上	1	1%
合計	181	100%



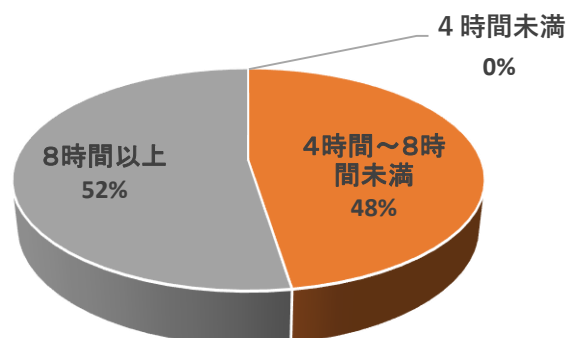
⑧1週間あたりの勤務日数

	件数	割合
1日～3日	6	3.3%
4日～5日	169	93.4%
6日以上	6	3.3%
合計	181	100%



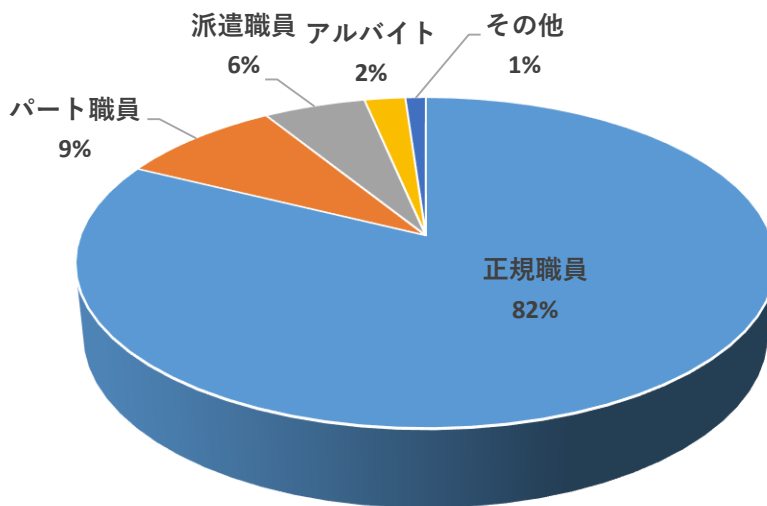
⑨1日あたりの勤務時間

	件数	割合
4時間未満	0	0%
4時間～8時間未満	86	48%
8時間以上	95	52%
合計	181	100%



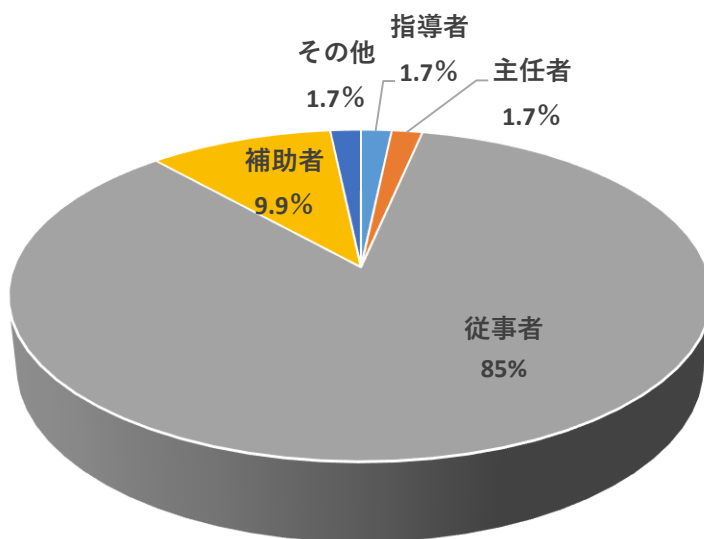
⑩雇用形態

	件数	割合
正規職員	149	82%
パート職員	16	9%
派遣職員	10	6%
アルバイト	4	2%
その他(記載なし)	2	1%
合計	181	100%



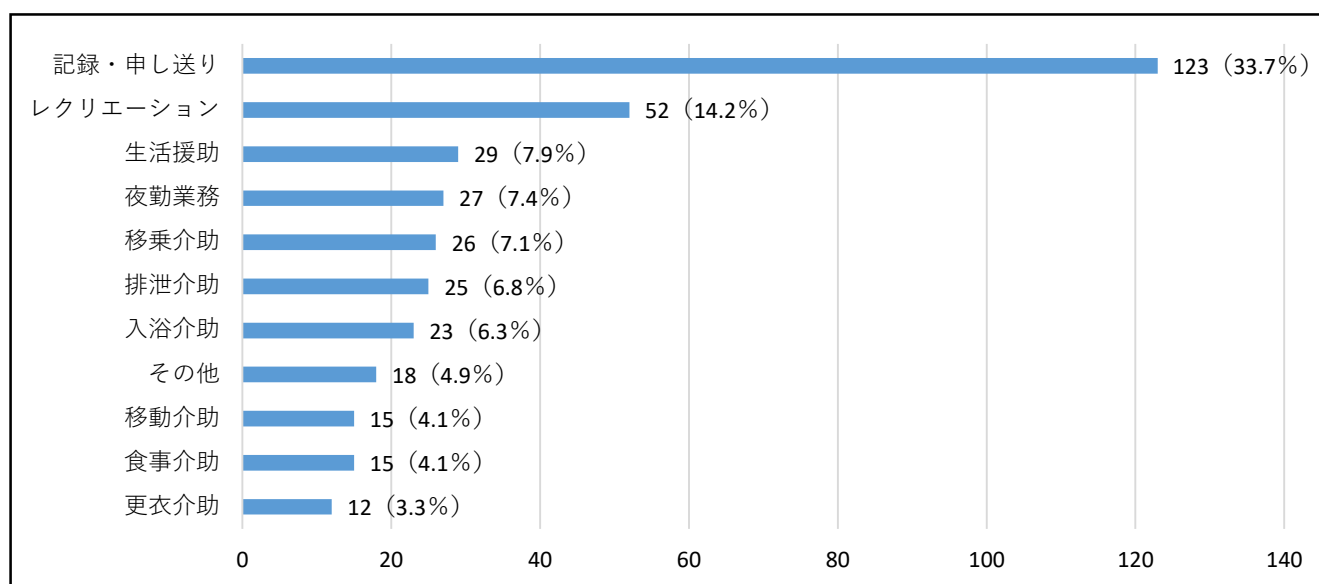
⑪職場での立場

	件数	割合
指導者	3	1.7%
主任者	3	1.7%
従事者	154	85.0%
補助者	18	9.9%
その他	3	1.7%
合計	181	100%



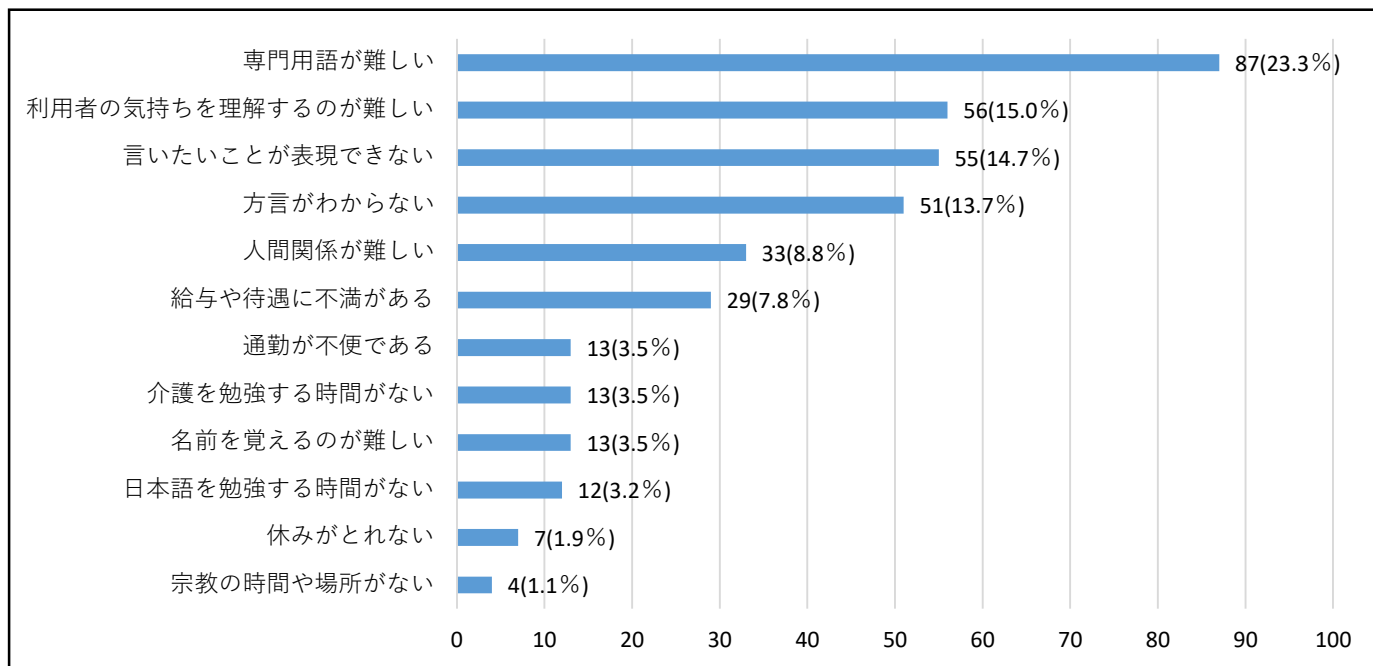
※その他内訳：従事者兼外国人リーダー 1名
記入なし 2名

⑫介護の仕事で難しいこと（3つまで選択）

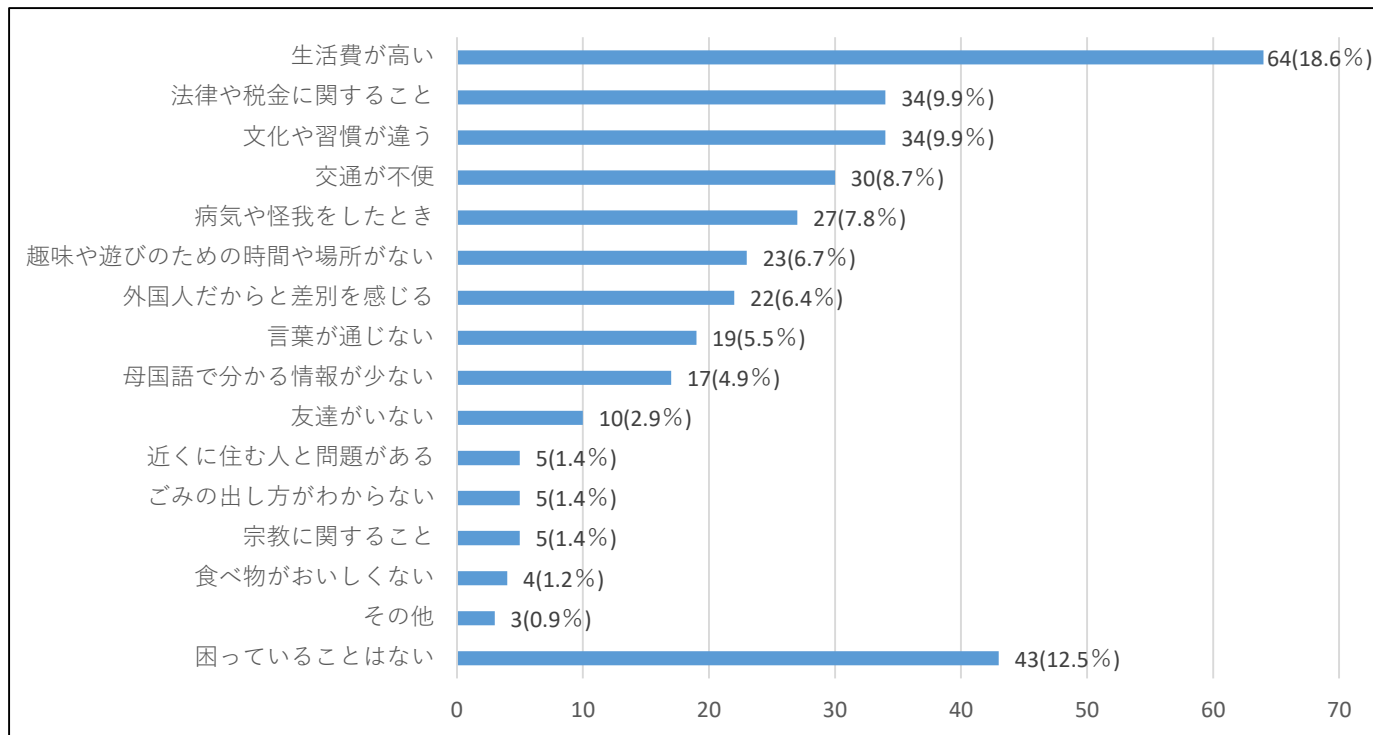


※その他では、「コミュニケーション」「専門用語」「ご家族への対応」「人間関係」「会議等の内容を理解すること」

⑬介護の仕事で困っていること（3つまで選択）



⑭日常生活で困っていること（3つまで選択）



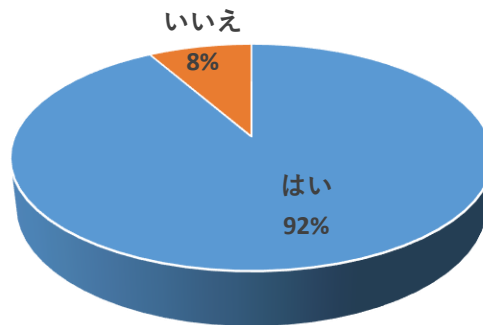
※その他では、「共同生活（性格の不一致）」「日本の果物はおいしいが種類が少ない」

⑮ 介護の仕事を続けたいですか

	件数	割合
はい	166	92%
いいえ	15	8%
合計	181	100%

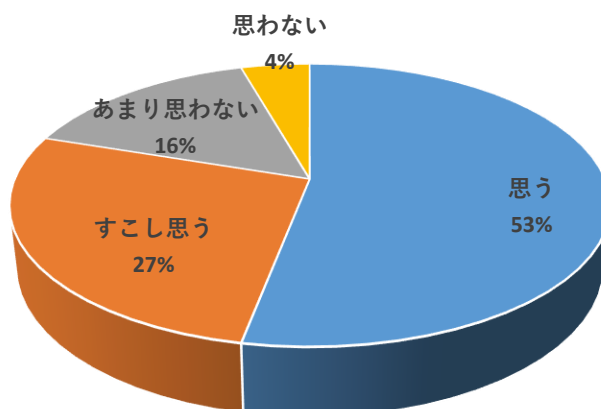
「いいえ」を選んだ理由（自由記述）

- ・体に不調が出てきている4名
- ・仕事は大変だが給料が少ない3名
- ・人間関係が難しい
- ・仕事が大変
- ・やりがいや達成感を感じない

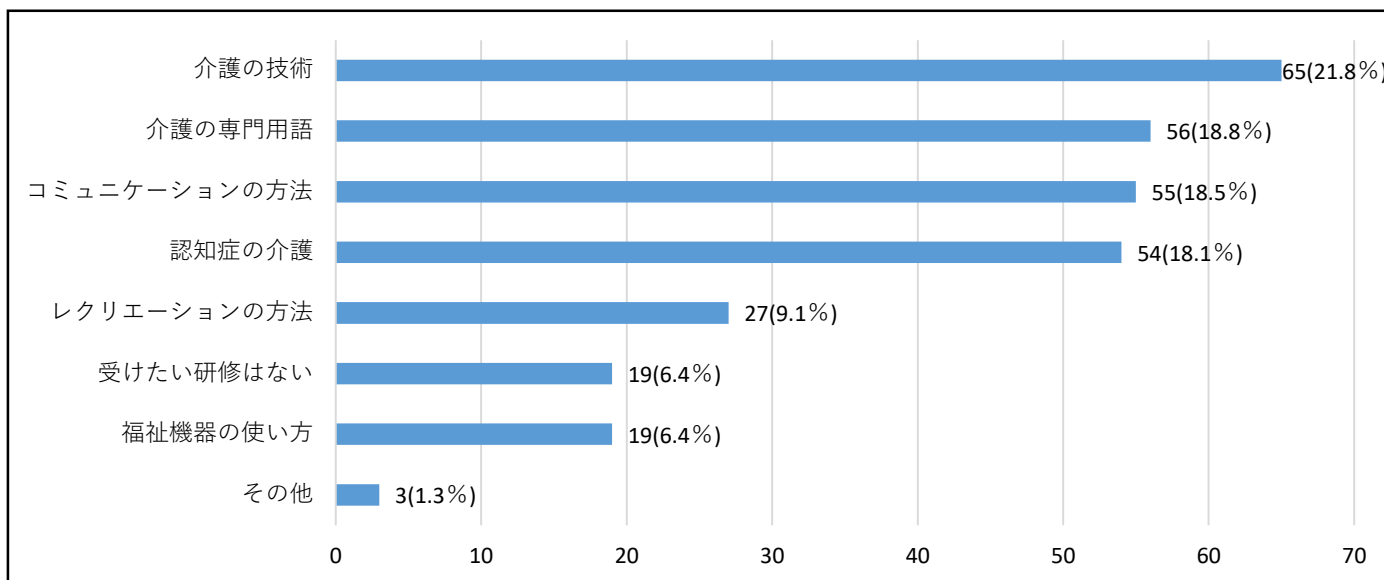


⑯ 友人に介護の仕事をすることをすすめたいと思いますか

	件数	割合
思う	96	53%
すこし思う	49	27%
あまり思わない	28	15%
思わない	8	4%
合計	181	100%



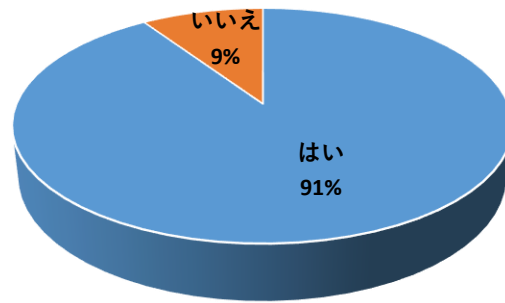
⑰ 受けたいと思う研修はありますか（2つまで選択）



※その他では、「介護福祉士国家試験対策」「実務者研修」「研修すべて受けたい」

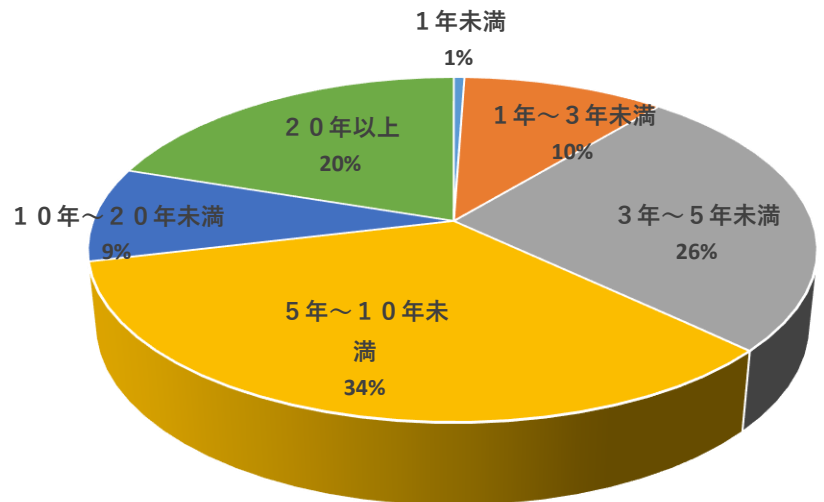
⑱母国の家族に仕送りをしていますか。

	件数	割合
はい	164	91%
いいえ	17	9%
合計	181	100%



⑲今後、どれくらい日本に滞在する予定ですか。

	件数	割合
1年未満	1	1%
1年～3年未満	19	10%
3年～5年未満	47	26%
5年～10年未満	62	34%
10年～20年未満	16	9%
20年以上	36	20%
合計	181	100%



⑳コロナウイルス感染症のことで困っていることはありますか。(記述)

自由に外出できない	7	マスクとフェイスシールドをつけなければならない	5
感染時買い物に行けない	4	感染してつらかった	2
会社がコロナで休みになった時、給料が少なくなった(仕送りができなかった)	2	日本に来てからワクチン接種していないため接種したい	2
ワクチン接種、感染後の後遺症	2	友達に会えない	1
母国に帰れない	1	感染した職員による休職で人手不足のため時間内に仕事が進められない	1
マスクの費用	1		

②介護の仕事を選んだ理由を教えてください。(記述)

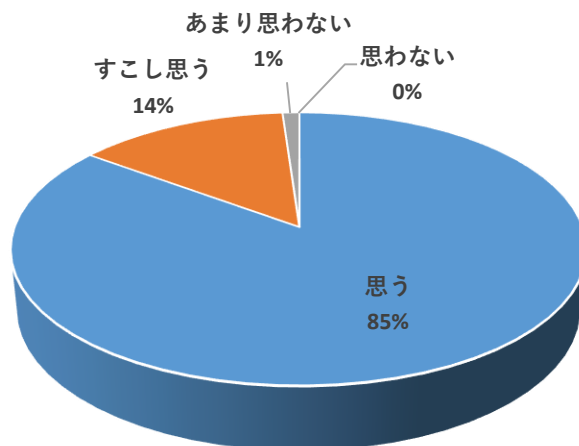
お世話をする、助けることが好きだから	32
介護・医療を学びたいと思ったから	15
やりがいがあり、人の役に立つ、社会で重要な仕事だから	14
母国で看護・助産師・介護の勉強・仕事をしており活かせると思った	11
友人・家族・親戚の紹介	8
人と関わることが出来る、コミュニケーションが取れる	4
家族の経済を手伝いたいから	4
魅力があり楽しい、面白いと思ったから	3
介護福祉士になりたいから	2
日本に早く行く方法が介護だったから	2
たくさんのが学べるから	1
安定した仕事だから	1
自分に合っていると思った	1
将来役に立つと思ったから	1
現場で経験を積みたいと思った	1
看護師になりたかったが金銭面で介護に変更した	1

お年寄りが好きだから	19
両親・祖父母の介護の時に役にたつから	14
日本語の勉強ができるから	12
介護の仕事に興味があった	9
日本の高齢者を尊敬しているから	5
元気、笑顔、喜んでいただけると自分も幸せになるから	4
手に職をつけることができる	3
めぐりあわせ	3
将来母国で活かせるから	2
派遣会社に紹介されたから	2
職場環境がいいと聞いたから	1
介護の資格を取得したため	1
他の仕事より楽と思ったから	1
楽しそうな職場だと思ったから	1
新しいスキルを学びたいと思った	1

②介護の仕事をして良かったと思うことをおしえてください。

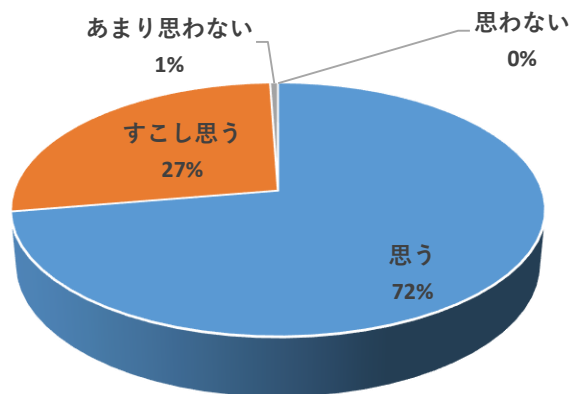
(1)利用者様によるこんでもらうなど、仕事にやりがいを感じること

	件数	割合
思う	154	85%
すこし思う	25	14%
あまり思わない	2	1%
思わない	0	0%
合計	181	100%



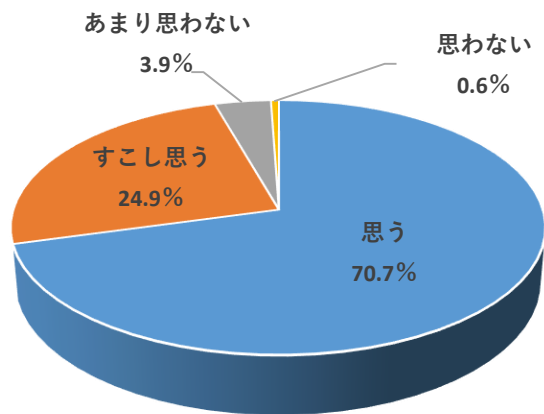
(2)日本語や介護技術の向上ができること

	件数	割合
思う	131	72%
すこし思う	49	27%
あまり思わない	1	1%
思わない	0	0%
合計	181	100%



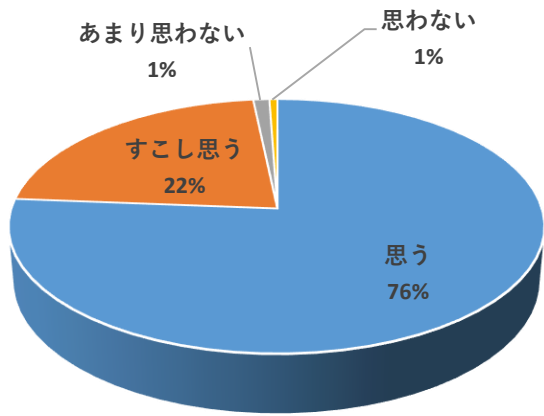
(3)スタッフに助けてもらうなど、働く環境がよいこと

	件数	割合
思う	128	70.7%
すこし思う	45	24.9%
あまり思わない	7	3.9%
思わない	1	0.6%
合計	181	100%



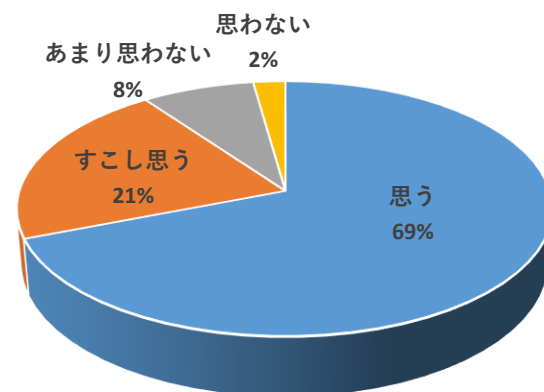
(4)相手の気持ちを考えて行動するなど、人間として成長できること

	件数	割合
思う	138	76%
すこし思う	40	22%
あまり思わない	2	1%
思わない	1	1%
合計	181	100%



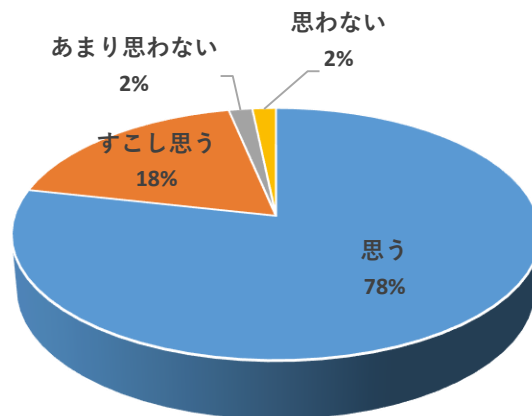
(5)賃金が安定し、手当や休日などの雇用条件がしっかり守られていること

	件数	割合
思う	125	69%
すこし思う	38	21%
あまり思わない	14	8%
思わない	4	2%
合計	181	100%



(6) 将来、自分の家族の介護や母国（自分の国）のために活かせること

	件数	割合
思う	142	78%
すこし思う	33	18%
あまり思わない	3	2%
思わない	3	2%
合計	181	100%



(7) その他に介護の仕事をしてよかったと思うことがあれば教えてください。

日本の文化を学べること	3	学習時、学費の援助があったこと	1
介護の仕事をしてから命を大事にするのは大切だと思えたこと	1	日本人の友達ができたこと	1
「あなたで良かった」「あなたがいれば安心」と、自分自身に絶大な信頼を置いてもらえること	1		

③ 介護の仕事についての目標をおしえてください。（記述）

介護福祉士資格の取得	4 8	利用者様が幸せで元気な生活が送れるように支援する	3 0
日本語能力の向上	9	介護技術の向上	8
家族の世話に役立てたい	8	まだ知らないことがあるため勉強を続けたい（専門用語・福祉機器等）	7
外国人に介護の仕事を教える立場になりたい	5	利用者様に適切な支援をする	5
母国で活かせるよう経験を積みみたい	5	看護師資格の取得	4
生活の為に仕事を続けたい	4	介護施設を作りたい	2
母国で介護の学校・会社を作りたい	2	長く続けること	2
母国と日本の仲介的な役割（介護と日本語の面で）を果たせるようになりたい	1	仕事で独り立ちすること	1
他スタッフや利用者様に迷惑をかけないこと	1	ケアマネジャーの取得	1

④ 岐阜県に来てよかったことを教えてください。（記述）

(81件) 環境面		
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 景色がきれい（山・桜・白川郷・雪・長良川）（3 2） ➢ 空気がきれい（6） ➢ 故郷に似ている（3） 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 自然が豊か（16） ➢ 気候が穏やか（5） ➢ 愛知県に行きやすい（都会と田舎両方味わえる）（1） 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 静か（1 3） ➢ 自然災害がすくない（4） ➢ 観光地がたくさんある（1）
(60件) 生活面		
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 治安がよい（16） ➢ 物価が安い（7） ➢ 岐阜弁が勉強できる（2） ➢ 子育て支援がある（1） 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 住みやすい（1 3） ➢ 食べ物がおいしい（5） ➢ 文化や歴史を学ぶことができる（2） ➢ 夫の実家があるので安心（1） 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 交通が便利（7） ➢ お店がたくさんあり便利（4） ➢ 労働環境がよかった（1） ➢ アンケートで外国人として意見を言える場があるのがいい（1）
(19件) 人柄について		
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 人が親切（18） 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 友達が増えた（1） 	

【②県内の介護事業所で働く外国人】

I 介護業務従事年数に応じた介護の仕事で難しいと思うこと
(クロス集計：⑦介護業務従事年数 × ⑫介護の仕事で難しいこと)
 ※介護業務従事年数それぞれにおける回答数を割合で記載している

	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年～ 10年未満	10年以上
排泄介助	10.1%	5.6%	3.6%	6.3%	7.4%	0.0%
食事介助	2.8%	5.6%	7.1%	1.6%	3.7%	0.0%
入浴介助	8.3%	3.7%	5.4%	7.9%	7.4%	0.0%
更衣介助	1.8%	5.6%	0.0%	3.2%	7.4%	0.0%
移動介助	4.6%	5.6%	3.6%	1.6%	3.7%	0.0%
移乗介助	8.3%	6.5%	8.9%	4.8%	7.4%	0.0%
記録・申し送り	27.5%	39.8%	37.5%	28.6%	37.0%	50.0%
レクリエーション	14.7%	13.0%	12.5%	22.2%	3.7%	0.0%
生活援助	5.5%	3.7%	17.9%	12.7%	3.7%	0.0%
夜勤業務	9.2%	7.4%	3.6%	6.3%	7.4%	50.0%
その他	7.3%	3.7%	0.0%	4.8%	11.1%	0.0%

・介護業務従事年数に関わらず、「記録・申し送り」が最も割合が高くなっているため、支援の必要性が高いと考えられる。

II 介護業務の従事年数に応じた受けたい研修
(クロス集計：⑦介護業務従事年数 × ⑬受けたい研修)
 ※介護業務従事年数それぞれにおける回答数を割合で記載している

	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年～ 10年未満	10年以上
介護の技術	24.0%	21.5%	25.0%	18.8%	14.8%	0
認知症の介護	14.0%	16.5%	15.9%	31.3%	18.5%	0
福祉機器の使い方	6.0%	5.1%	9.1%	4.2%	11.1%	0
介護の専門用語	17.0%	19.0%	27.3%	16.7%	14.8%	0
コミュニケーションの方法	21.0%	21.5%	11.4%	14.6%	18.5%	0
レクリエーションの方法	10.0%	6.3%	9.1%	8.3%	14.8%	0
受けたい研修はない	5.0%	8.9%	2.3%	6.3%	7.4%	100%
その他	3.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0

・介護業務従事年数が2年未満では「介護の技術」や「コミュニケーションの方法」の割合が高く、介護業務従事年数が2年以上になると介護の技術に加え「介護の専門用語」や「認知症の介護」の割合が高くなっている。
 年数を重ねることでより専門的なことを学びたいと考えているのではないかと考えられる。